

## 除草剤使用時の水管理と初期剤の使用時期

### 水管理

- ◎代かきは丁寧に行い田面の均平を保つ。
- ◎処理時は田面露出がないようにやや深水で管理。
- ◎除草剤散布後は常時かん水状態を保つ。

### 除草剤散布時

- ◎水深 ●粒剤・フロアブル 3～5cm  
●ジャンボ剤・FG 5～6cm
- ◎水口・水尻をしっかりと止める。
- ◎使用時期は **代かき後10日以内を目標に。**

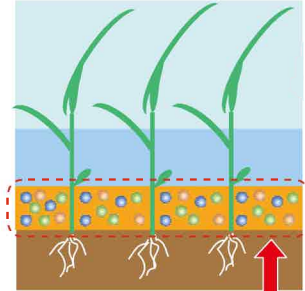
### 散布後

- ◎3～4日間は水を動かさない。
- ◎水が切れそうな時は、静かにさし水をする。
- ◎止水管理の徹底（散布後7日間）安定した効果を得る事と除草剤の流出（環境への配慮）防止。

# 除草剤処理層のできかた



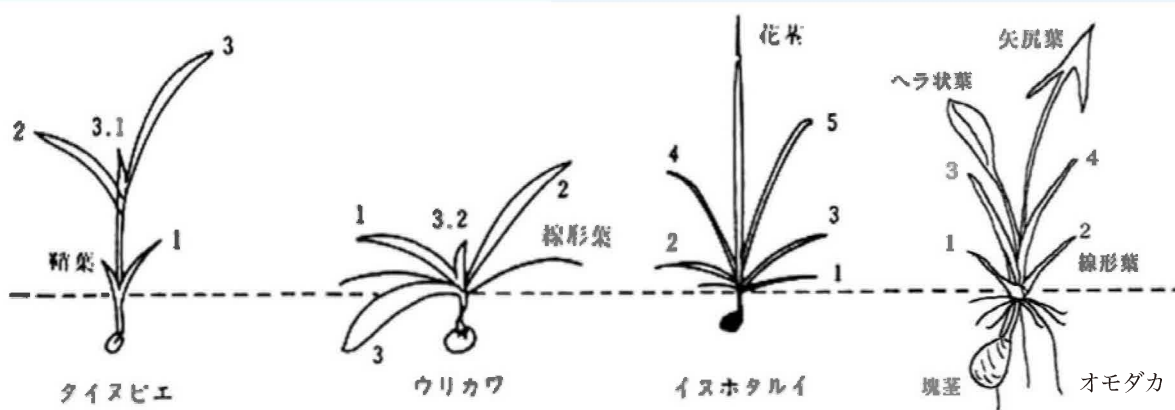
3日~4日かけて、  
土壌表面に吸着し、  
除草剤処理層となる。



土壌表面に吸着され除草剤  
処理層を作り雑草を枯らします。

除草剤散布後、除草成分が拡散。

# 代かき後の日数と雑草の葉齢



代かき後の日数	5日	7日	10日	12日	15日	20日	25日
ノビエ		1.0~1.5	1.5~2.0	1.5~2.5	2.0~3.0	2.5~4.0	
ウリカワ	初生葉	0.5~1.0	1.0~2.0	2.0~3.0	3.0~4.0	4.0~6.0	6.0~9.0
ホタルイ	0.5~1.0	1.0~1.5	1.5~2.0	2.0~3.0	3.0~3.5	3.5~4.5	4.5~5.0
オモダカ	発生前	発生前	発生始め	1.0~2.0	2.0~3.0	3.0~ヘラ	ヘラ~矢尻

古川農試(2007)より

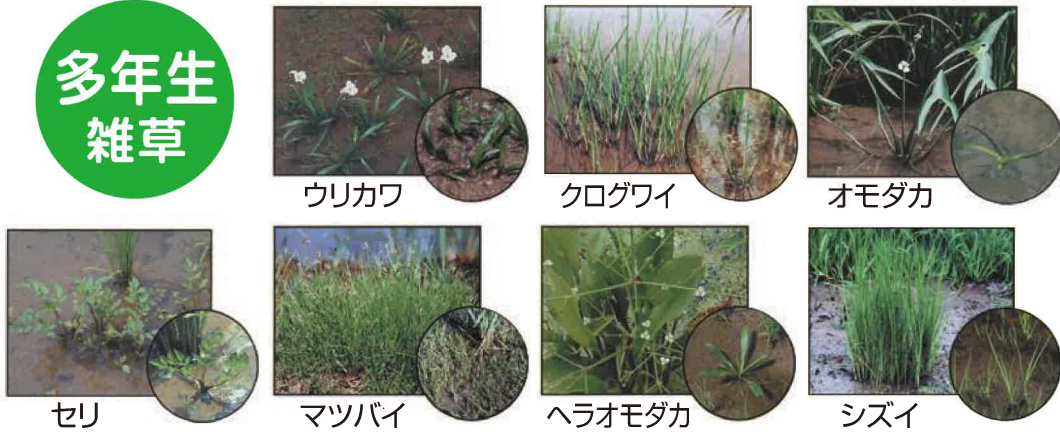
# 主な水田雑草

## 一年生雑草



近年増加傾向

## 多年生雑草



### ホタルイの防除

- ほとんどは種子から発生
- SU剤抵抗性のももあり
- 1個体あたり100粒前後の種を作る
- 土壌中の種子の生存期間は長い

#### 特徴

- ・根に小さな黒い種が付いている
- ・穂が茎先から数cm下に付く
- ・基部に鞘はない点でクログワイと区別

●「ピラクロニル」「テフリルトリオン」「プロピスルフロンの成分がホタルイに高い効果を発揮する。

※多発田の場合は、初期剤＋一発処理剤(体系処理)を実施

### クログワイの防除

- 塊茎から芽が長期間(田植後10～90日程度)発生。
- 草丈10～20cmで塊茎を作り始める。
- 塊茎の寿命は5～7年程度。種子では繁殖しない。

#### 特徴

- ・根に玉(塊茎)がある
- ・穂が茎先に付く
- ・しごととバリバリ音がする
- ・基部に鞘がある



塊茎

1.多発田はこだわり米を中止し一発剤と中・後期剤の体系処理を3～5年程度続ける!!

2.秋・冬の耕起も効果有!!

↑  
10～20cm程度になると塊茎をつくる

### オモダカの防除

- 塊茎から芽が長期間(移植直後～60日程度)発生。
- 主に塊茎で繁殖し、種子でも増える。
- 塊茎の寿命は1年程度。徹底防除で大幅な減少が可能!

●初期剤＋一発処理剤(体系処理)を実施。  
●「ピラクロニル」「テフリルトリオン」の成分が入った除草剤を使用することが重要。